

ふりがな 氏名	おおつか ひろき	都 道 府 県	宮城県	
	大塚 広基			
所属/肩書	NPO 法人 キッズドア / 教育支援事業部 東北チーム コーディネーター			
私のESD活動	すべての子ども達が生まれてきた環境に問わず、やりた いことに挑戦できるための教育支援活動			
関心・活動のSDGs	 			

活動の概要

キッズドアは「すべての子どもが夢と希望をもてる社会」を目指して、日本国内の子ども支援に特化した活動を行っている団体です。その中で私は東北チームに所属し、仙台市内および南三陸町で暮らす中高生を対象とした教育支援活動に従事しています。具体的には高校受験サポートのための学習会「タダゼミ」、高校中退予防・大学進学サポートのための学習会「ガチゼミ」、南三陸町内唯一の県立高校 志津川高校内の公営塾「志翔学舎」のマネジメントを担当しています。私達の学習会に通ってくる子ども達は自己肯定感が低い、何か一つのことをやり抜いた経験がない、人間関係を築くのが苦手といった傾向が見られます。そうした子ども達の内発的動機づけを高めるために「有能感」「自律性」「関係性」の3つを実感できる環境作りの構築に努めています。今年度はタブレット端末を用いたICT教材(スタディサプリ、Qubena)を導入し、各々生徒の学力に応じた課題や教材を提供することが可能となりました。ガチゼミでは教育 SNS「Classting」を導入し、学習支援ボランティアと子ども達のコミュニケーション空間の構築、クラス運営の効率化と教材のペーパーレス化を押し進めることができました。今年度上半期には社会性養成のために5名の子ども達を「U-18 東北次世代リーダーカンファレンス」「TMODACHI サマー2018」「ピースウィンズ・ジュニア・グローバルシチズン・サマーキャンプ」等のイベント参加へ繋げることができました。

・「NPO 法人キッズドア」 <http://www.kidsdoor.net/>

・「NPO 法人キッズドア 東北事業部」 <http://kidsdoor-fukko.net/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

私は「中高生の子ども達にどのようなアプローチを行えば、彼らがやりたいことや進路についてポジティブに向き合え、自分自身で動き出せるようになるか」と考えながら、コーディネーターを務めています。宮城県の高校卒業後の進学率は生活保護世帯の子どもで23.4%、児童養護施設の子どもの進学率で21.4%と、県内の全卒業者の70.5%を大きく下回っています。特に高校生に対する学習支援に取り組んでいる団体は県内のみならず全国的に見てもまだまだ多くはありません。こうした背景には履修科目数の増加および指導内容の複雑化や希望する進路が多岐に渡ってくる事が挙げられます。私も日々子ども達と関わりながら、彼らを取り巻く教育環境や入試制度の変化に精通することや進路相談のための関連知識のインプットの多さに支援上の難しさを感じています。これに加えて子ども達の精神面でのケアや家庭環境の改善にまで取り組むとなると、個人や一団体では手が回りません。そのため、本イベントでの出会いや体験を元に自身のスキルアップを図りつつ、各専門分野で取り組む当事者が相互に支援し合えるネットワークの構築と人材育成を進めていきたいと考えています。